

平成21年度総合問題（生活科学科 生活科学専攻）解答例

1 (60点：問1＝10点， 問2＝20点， 問3＝30点)

【採点のポイント】

- ・ 論旨が明確であること。
- ・ キーワードを含んだ適切な内容であること。

【解答例】

問1 幼児は自分を主観的に見ているが，思春期の若者は自分を客観視しようとする。

(36字)

問2 小学校時代には仲間と広く浅く誰とでも遊ぶというつきあいをするが，思春期には仲間とせまく深くつきあうようになる。(55字)

問3 思春期の若者は，自分の外面を知るために真顔で鏡をみるようになる。また，自分の内面を知るために，自分が親しくしている仲間の感想や評価や反応などをみて，自分はこういうふうな人間なのだと確かめようとする。(99字)

2 (70点：問1＝10点 5点×2， 問2＝15点， 問3＝45点 15点×3)

問1 洗剤濃度 0.133 % 洗濯時間 10分

問2 溶かした洗剤の重さを x g とすると，

$$100 \times x / (30000 + x) = 0.167$$

$$100x = (30000 + x) \times 0.167 = 30000 \times 0.167 + x \times 0.167$$

$$(100 - 0.167)x = 30000 \times 0.167$$

$$99.833x = 5010$$

$$x = 5010 \div 99.833 = 50.183$$

$$x = 50.2 \text{ (g)}$$

問3

【採点のポイント】

- ・ グラフの示す内容が述べられていること。
- ・ グラフの内容と実際の洗濯との関係が述べられていること。

【解答例】

図1 洗浄力は洗剤濃度に比例するが，基準の濃度（標準使用量）以上では，あまり増加しない。

従って，基準の濃度以上では洗剤やすすぎの水の無駄となるため，標準使用量を守ることが大切である。(88字)

図2 洗浄力は洗濯温度が高いほど大きく，温度が10℃高いと約5%洗浄力が増加する。

一方、高温では、色物は退色などの恐れがあり、羊毛は繊維の風合いを損ねるため、これらは、高温での洗濯は避けなければならない。(98字)

図3 洗濯時間が長いほど汚れはよく落ちるが、洗濯時間が10分を過ぎると汚れ落ちはあまり変わらない。

洗濯時間が長いほど繊維は傷み、また、経済的にも無駄なので、7～10分くらいの洗濯時間がよい。(90字)

3

(70点：問1=40点 10点×4， 問2=30点)

問1

A：長方形

B：円（円形）

C：二等辺三角形

D：だ円（だ円形）

問2

1：C

2：D

3：A

4：B

5：F

6：E